

平成 26 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

Table with columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的, 改善策の具体的な取り組み(当初), 改善策の具体的な取り組み(二次評価後)

Table with columns: 事業費及び財源内訳 (千円), 事業活動の実績 (活動指標)

Table with columns: 向こう5年間の直接事業費の推移 (千円), 27年度, 28年度, 29年度, 30年度, 31年度, 5年間の合計

Table with columns: 成果指標, 指標設定の考え方, 区分年度, 25年度, 26年度, 27年度, 目標年度

今年度の課題への対応状況(途中経過)

Main evaluation table with columns: 事業の事業名, 自己評価(担当者), 一次評価, 目的の妥当性, 町民ニーズへの対応, 町の関与の妥当性, 事業の効果, 成果向上の可能性, 施策への貢献度, 手段の最適性, コスト効率, 受益者負担の適正, 自己認識, 所属長の課題認識

| | | | | | |
|------------------|--|-------|---------------------|-------------------------------|--|
| 事務事業名 | 特産品開発事業 | 予算事業名 | | 担当課 | 魅力づくり推進課 |
| 会計名称 | 一般会計 | 予算科目 | 6 款 1 項 3 目 | 所属長名 | 久芳 義則 |
| 総合計画での位置づけ | 地域資源を活かし、新たな発展を生む産業をつくる 農業の恵みを守り、高める | | | 担当責任者名（記入者） | 久芳 文香 |
| 事業の性格 | <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務 | | 法令根拠等 | | |
| 事業の対象 | | | 実施期間 | 【開始年度】 | 平成 25 年度 |
| | | | | 【終了年度】 | 平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし |
| 事業の目的 | 地元農産物を利用した付加価値の高い特産品を作り販売していくことで、収益と雇用につながる新たな産業を生み出す。 | | 事業の内容 | 既存の加工グループの活動支援、特産品開発に向けた調査研究等 | |
| 改善策の具体的な取り組み（当初） | | | 改善策の具体的な取り組み（二次評価後） | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-----------|---|---|--|-----------|---|-----|------|
| （自己評価） 担当者評価 | 妥当性 | 目的の妥当性 | 4 | B | C | 目的の妥当性 | 3 | 妥当性 | 一次評価 |
| | | 町民ニーズへの対応 | 3 | | | 町民ニーズへの対応 | 3 | | |
| | | 町の関与の妥当性 | 3 | | | 町の関与の妥当性 | 3 | | |
| | 有効性 | 事業の効果 | 2 | D | | 事業の効果 | 3 | 有効性 | |
| | | 成果向上の可能性 | 2 | | | 成果向上の可能性 | 3 | | |
| | | 施策への貢献度 | 3 | | | 施策への貢献度 | 4 | | |
| | 効率性 | 手段の最適性 | 2 | D | | 手段の最適性 | 3 | 効率性 | |
| | | コスト効率 | 2 | | | コスト効率 | 3 | | |
| | | 受益者負担の適正 | 2 | | | 受益者負担の適正 | 3 | | |
| | | | | | | | | | |
| 課題認識 | <p>平成26年度は加工グループの活動支援や特産品の開発に向けた取り組みを事業委託していたが、進めていく中で課題が出てきた。事業の中で出てきた提案をどのように採用するか、その後の過程（製造・販売・PRなど）に、誰がどのように関わっていくかについて、事業の中で並行して検討していたため、年度内に商品化に結び付けていくことができなかった。まず、特産品開発の全体の流れや役割分担等を先に固める必要がある。</p> | | | | <p>今後は、人材育成だけでなく加工場の整備や販路の確保等について具体的な計画の作成が必要である。又、行政主導だけではなく、製品化に向けた時間とコストを考え多場合、民間企業との連携についても検討が必要である。</p> | | | | |
| | <p>自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。</p> | | | | <p>一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。</p> | | | | |

| | | | | | |
|-----------|-----------|-------------------------------------|--|--|----------------------------------|
| 施策を踏まえた判断 | 二次評価（所属長） | <input type="checkbox"/> | 一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 | 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。 | |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。 | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。 | | 一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。 |
| | | <input type="checkbox"/> | 町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。 | | 行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日 |
| | | <input type="checkbox"/> | 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 | | |

| | | |
|------------|------|---|
| 行政評価委員会の答申 | 外部評価 | <p>答申の内容</p> <p>○成果指標には販売額を設定することが望ましい。 ○町と生産に携わっている組織との役割分担を明確にする必要がある。 ○場当たりの対応が見受けられるので、長期的ビジョンや目標と計画を立てることが必要。具体的計画を策定し、有効性、効率性の効率を上げる事を念頭に、長期的視点で改善されたい。</p> |
|------------|------|---|

| | |
|------------|--|
| 経営者会議の最終判断 | <p>団体への補助は、特産品事業として成り立つのか精査し、期限を区切って行うべきである。事業計画を策定し、計画的に実施すること。</p> |
|------------|--|